



# まるめろ通信



## 私の小径

これからも健康で元気に100歳まで長生きして  
家族や施設の友人たちと一緒に過ごしたい。

ふじた  
**藤田 きくさん** 昭和3年生まれ 90歳 / むつ市大湊出身



新しい元号になっても、幸せで平和な世の中であって欲しい。

藤田きくさんは2016年から「グループホームまるめろ」で暮らしています。

きくさんは、むつ市大湊に8人きょうだいの5番目として生まれました。父親が銀行員だったため、むつ市内を何度か引越し、物心がついた頃からは大畑町で暮らし始めました。

毎朝6時の汽車に乗り大畑から友人たちと田名部高等女学校へ通っていました。あまりにも早く駅に着るため、担任の自宅へ寄って、みんなで家の手伝いをしてから学校へ向うのが日課でした。また、戦争中だったため、勉強をするというよりは、勤労奉仕に従事する日が続きました。

「その頃の田名部駅周辺は、田んぼばかりで、電気もなく暗い道だった。でも、友人たちと話をしながら通っていたので楽しかったよ。」

学校を卒業したあとは、青森銀行に入社します。1945年8月15日、出社すると同僚が涙を流していました。きくさんは、ラジオから流れる昭和天皇の声を聞いて、戦争が終わったことを知ります。

戦後の慌ただしさの中、きくさんは友人の紹介で、建築会社に勤めていた3歳年上の堅太郎さんと出会います。24歳のときに結婚し、新町にある堅太郎さんの実家で義父母と同居を始めた。

「女性は結婚し、子供を産み、家を守るべきだ。」という考えが主流の中、堅太郎さんは「働けるうちは、思いつきり働きなさい。きくの好きにきなさい。」と理解を示します。長女の美知子さんと義母の協力のもと、銀行に40年勤めました。退職後は身につけた資格を活かし、ボーリング場やガソリンスタンドの事務員として働きます。美知子さんは「母は毎日家計簿をつけていましたが、一円も間違えた事はありません。お金の計算は今でも母にはかないません。」と話してくれました。

きくさんが75歳のとき、堅太郎さんが病気のため亡くなりました。

「夫はドライブが大好きでした。買い物をするつもりで一緒に近所へ外出し、結果的に秋田や岩手まで行ってしまう、むつ市へ帰って来られず泊まるのが何度もありました。行動的な夫で毎日楽しかったです。」

悲しみに暮れるきくさんを救ってくれたのは、美知子さんと2人の孫の存在でした。

「娘が大きくなり孫が生まれ、みんなの成長をそばで見ることができて、とても幸せな人生です。」

きくさんは今年91歳になります。家族の温もりを感じながら100歳を目指します。 記/渡邊 奈美子

シンチャオ。久しぶりのベトナムからのレポートです。

日本では梅雨の気配を感じる時期となりましたが、ベトナムでは日ごとに暑さが増して気温が40度を越える日も珍しくありません。そのためか、フエ医療短期大学のコースでの介護や日本語の授業も、いつも以上に熱気が増してきています。

4月18日から21日にかけて、ベトナム・フエ工業所では介護人材育成事業ならびにベトナムの介護事情視察訪問団の受け入れを行いました。今回お越しいただいたのは、昨年度仙台市で発足した「みちのく社会福祉協同組合」と関連のある、社会福祉法人ウエル千寿会(宮城県仙台市)、社会福祉法人相馬福祉会(福島県相馬市)、一般社団法人福島県老人福祉施設協議会(福島県福島市)の代表からなる視察団の皆様です。

フエに到着後は法人の現地パートナーでもある「フエ医療短期大学」を訪問、大学代表のハイ副学長と日本の高齢者介護施設の様子や、ベトナムにおける日本語・介護教育事情、学生の日本への就労意欲などについての意見交換を行いました。ハイ副学長からは「数多くの選択肢が学生にもたらされる中で競争は年々激化している。日本で働く場合の条件や待遇など、学生が比較検討できるように詳細な情報を出してもらいたい。」との話がありました。

その後、視察団は2017年に法人が短大内に開講した「日本語福祉・介護・日本語選択コース」の授業見学を行いました。現在、コースには1年生と2年生合わせて84名が在籍しており、日本の介護施設で働くことを夢見て日々勉強に励んでいます。見学後にはそれぞれの法人の取り組みを紹介したり、学生と質疑応答を行いました。そこで学生から2つの事について心配する声が多く聞かれました。一つ目は「日本での気候や安全面」についてです。温暖な気候のベトナムで生まれ育った学生たちにとっては、「日本の冬は厳しい寒さ」というイメージ

## ★ シンチャオ! ベトナム滞在記

### 介護人材育成事業視察団の訪問



様々な角度からベトナムを知ることができたと話す視察団一行

ジが強いようです。また、日本での仕事の際に悪い話に騙されないように気を付けたいと学生は語ってくれました。そして、二つ目は日本での給料のことで、ベトナムに住む家族のためにもできるだけ多く稼きたいというのが、学生たちの本音のようです。

視察ではフエだけでなく、設立12年を迎えたハノイにある「仁愛老人ホーム」も訪れ、約100名の利用者の施設での生活ぶりや、そこで働くベトナム人介護士すべてが看護師の資格を持った方々の様子を見学しました。

また、老人ホームで働く日本人介護福祉士へのインタビューでは「ベトナムで日本語介護の施設をやるためには、利用者やパートナーとなるベトナム人ならではのニーズをいかに組み込むかが重要となる。日本式を踏まえてアレンジしたベトナム式の介護を施設に持つということが必要ではないか」という意見も出ました。

視察団のメンバーからは「実際にベトナムに来たことで、聞くだけでは分からないことがたくさんありました。ベトナムの文化や人間性、考え方などを多方面から知ることができたため、今後の外国人受け入れ準備に活かしていきたい。」という声も聞かれ、今回の視察がとても有意義なものであったことを物語っていました。

記/向井 正大(フエ工業所)

2019年7月27日(土)  
みちのくフェスティバル開催!!

今年も十二林みちのく荘敷地内において「みちのくフェスティバル」を開催します。たくさんのお店の出店や小さなお子さんが遊べるブースなど、地域の皆さんに楽しんでもらえるイベントを企画しています。近隣に駐車場もございますので、お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

詳細は、後日チラシや当法人のホームページにてお知らせします。

《問い合わせ》  
電話/0175(23)1600  
みちのくフェスティバル担当/佐賀



快適な環境づくりのお手伝い

- 介護用品のレンタル・販売 (車いす・ベッド・リハビリ機器他)
- 住宅改修

株式会社 **シルバーサービス**  
〒035-0033 むつ市横町 2-9-13  
TEL 0175-22-9511

やさしい街づくりを応援しています。

お客様へエネルギーの製造と革新を提供し、経済・社会の発展に努めます。

ENEOSグローブエナジー株式会社  
URL <http://eg-energy.jp/>

むつ支店: むつ市南赤川町10-27  
TEL 0175-22-8320

し尿収集運搬業・浄化槽保守点検・清掃業  
一般・産業廃棄物収集運搬業  
下水道管渠清掃カメラ調査、下水終末処理場維持管理業

**谷川環境衛生開発(株)**  
代表取締役社長 谷川 聡

本社: むつ市新町 41-1  
TEL. 0175(22)2659 FAX. 0175(22)7783  
フリーダイヤル 0120-12-2659



●特養建設予定地：宮城県仙台市太白区鉤取本町2丁目  
 ●まるめろケアプランセンター西多賀（居宅介護支援）  
 まるめろナースステーション西多賀（訪問看護）  
 まるめろヘルパーステーション西多賀（訪問介護）  
 住所：宮城県仙台市太白区上野山1-8-27  
 電話：022-302-5930

当法人初の県外事業として、2018年8月から仙台市での在宅訪問事業を開始してきましたが、2019年3月に仙台市より特別養護老人ホームの建設許可が下りたことで、新たな取り組みが始まります。

この施設は2019年冬ごろに着工、2021年3月の竣工を予定しています。開設後は隣接の国立病院機構 仙台西多賀病院との連携により「医療と介護の融合」だけでなく、障害福祉との共生型サービスの提供を目指します。さらに、天井走行リフトや見守り支援システム等、介護ロボットを導入やICT・IoTの活用による最先端の施設が誕生します。

そして、地域交流スペースや図書館、美術ギャラリーを併設し、利用者と地域住民に「福祉と文化の融合」による新しい福祉文化を提案したいと考えています。

その他、真空調理による安心・安全な食事の提供や、利用者のための高齢者コンビニ等、これまでむつ市で培ってきたノウハウを集結させ、未来型のモデル施設になる予定です。

何よりも、地域に根差し信頼され、介護サービス利用者だけでなく、地域住民が集う施設になるために、着実に歩んでいきたいと考えています。

シリーズ 仙台新規事業③  
**特別養護老人ホーム 仙台市に建設決定!!**

事業所新築工事の進捗状況や施設サービスの概要など、最新情報はホームページにて随時紹介しています。



大王崎（1977年）／関野準一郎  
 関野準一郎記念  
**まるめろ美術館ご案内**  
**「未だ見ぬ、関野準一郎」展**

期間/6月7日（金）～10月1日（火）  
 開館時間/10:00～16:00  
 資料代/300円（中学生以下無料）  
 休館日/第一水曜・第一木曜・土・日・祝日・年末年始



**みちのく荘で働く仲間たち 第5回 管理栄養士**

●管理栄養士ってどんな仕事？

管理栄養士は、病気を患っている方や高齢で食事がとりづらくなっている方、健康な方ひとり一人に合わせて専門的な知識と技術をもとに栄養指導や給食管理、栄養管理を行う国家資格の専門職です。

医療・福祉・行政のチームのひとりとして他職種と協力して健康をサポートしたり、国や大学、企業などの研究室に所属し、調査・実験に携わり、健康に役立つ商品開発活動を行っています。

名前：鹿内 美津穂  
 出身地：岩手県盛岡市  
 所属：みちのく城ヶ沢フードセンター

鹿内管理栄養士は2005年にみちのく荘へ入社しました。利用者の要望をすぐに調理現場に届け、それを献立にして提供できる、施設の栄養士として働きたいと思ったからです。

鹿内管理栄養士が新人のころ、行事食の提供を行った際に利用者から「今日の仕出し、美味しいよ～。どこの仕出しなの？」と、声をかけられました。仕出し弁当だと思われていたようで、仕出し弁当のように豪華だという言葉に感謝すると同時に、それを作る調理師がいる施設で働くことができる喜びを感じました。しかし「皆さんに喜んでもらうためにここを工夫して作りました！」という栄養士としてのアピール不足も実感しました。

現在は法人の真空調理工場である「みちのく城ヶ沢フードセンター」に勤務しています。美味しさはもちろん、安心・安全という衛生管理に特に注意しています。真空調理品を城ヶ沢から十二林と金谷地区にある法人の施設へ提供するために、食材の入荷・受入や調理、事業所へ搬送するまでのあらゆる過程で発生するおそれのあるリスクを予知し、予防対策を検討することも大事な仕事です。「あれ？」「何かが違う？」といった、ひとつひとつの気づきに声をあげ、必ず確認する事が心がけています。

最後に、むつ市の郷土料理といえば『味噌貝焼き』や『けいらん』というように「みちのく荘といえばこの料理！」という献立を作っていきたいと、今後の目標を教えてくださいました。

**2019年度 新人職員を紹介します！**

今年度、社会福祉法人青森社会福祉振興団に6名の新たな仲間が加わりました。入社して2カ月、それぞれの現場で日々頑張っている彼らを、どうぞよろしくお願いたします。

<p><b>介護職</b></p> <p>小関 晏奈 こせき あんな 仙台市出身</p> <p>特別養護老人ホーム 金谷みちのく荘 東北福祉大学</p> <p>●未来の自分へ一言 怠けないでしっかり生きてください。</p>	<p><b>介護職</b></p> <p>東谷 龍郎 あずまや たつろう むつ市川内町出身</p> <p>特別養護老人ホーム みちのく荘 青森県立大湊高等学校 川内校舎</p> <p>●未来の自分へ一言 自分のやりたかった仕事だから、胸張って頑張れ。</p>	<p><b>介護職</b></p> <p>泉 優里奈 いずみ ゆりな むつ市品ノ木出身</p> <p>特別養護老人ホーム みちのく荘 東奥学園高等学校</p> <p>●未来の自分へ一言 挫折することがあっても自分なりに頑張るって！</p>
<p><b>事務員</b></p> <p>伊藤 奏平 いとう そうへい むつ市美里町出身</p> <p>人材部 青森中央学院大学</p> <p>●未来の自分へ一言 仕事も趣味も熱を冷ますな！</p>	<p><b>事務員</b></p> <p>山口 陸 やまぐち りく 青森市出身</p> <p>法人本部 立命館大学</p> <p>●未来の自分へ一言 常に考えて、行動し続ける！</p>	<p><b>理学療法士</b></p> <p>佐藤 雅昭 さとう まさあき むつ市大畑町出身</p> <p>みちのくデイケアセンター 青森県立保健大学大学院</p> <p>●未来の自分へ一言 一人前の理学療法士としてしっかり頑張るって！</p>

**第1回みちのく荘「フォトコンテスト」報告**

当法人では、介護の魅力を伝えるために職員を対象に「みちのく荘フォトコンテスト」を開催しました。

第1回目となる今回のテーマは「伝えたい、自分の事業所の魅力！」ということで、多数の応募がありました。仕事をしていたりやりがいを感じる瞬間や、働く姿が輝いている同僚・先輩・後輩を撮影してもらいました。

最優秀賞を受賞したのは「みちのく十二林シヨートステイ」に勤務する、上路ケアワーカー。同事業所に所属しているEPA（経済連携協定）インドネシア人介護福祉士候補者のペルティウィケアワーカーと、利用者との微笑ましいふれあいを切り取った一枚です。

「私が勤務する十二林シヨートステイは、とてもチームワークの良い職場だと思います。職員と利用者の明るい笑顔と、明るい声が聞こえて来る職場です。写真からもその様子が感じ取れていると思います。」

上路ケアワーカー他受賞者には、賞状と副賞が贈られました。おめでとうございます！

〈技術に生きる〉  
 病院設備機器・研究設備機器

株式会社 **三バロ 医理科**  
 むつ営業所

〒035-0063 むつ市若松町2-54  
 TEL 0175(23)8760  
 FAX 0175(23)8761

**LINE 友だち募集中**

登録で下北文化会館の「クレマコーヒー」プレゼント！(6月末まで)

下北文化会館 ☎22-8411

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社 **ニッショク**  
 NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目13-35  
 電話 (0175) 22-7222  
 FAX (0175) 22-7081

●中高校生限定  
**介護体験講習会のご案内**

「介護の仕事ってどんな仕事？」と、介護について興味を持っている中・高校生を対象に、介護体験講習会を開催します。

この機会に、介護の面白さや将来役に立つスキルなど、ボランティア実習を通して学んでみませんか？

参加費無料・予約制となっております。まずはお気軽にお問合せください。

日時  
 2019年6月22日(土)  
 10時～15時(受付開始9時30分)

●場所  
 特別養護老人ホーム みちのく荘  
 (むつ市十二林11-13)

●お問い合わせ  
 担当/人材部 木村  
 電話/0175(23)1600